

だいきゅう か わたし  
第 9 課 私は スポーツが 好きです

1. Kako izrazimo svoje občutje?
2. Kako povemo, kaj znamo ali ne?
3. Kako povemo, kaj kdo ima?
4. Kateri izmed večih?
5. Kako vprašamo in povemo, zakaj?
6. Kako z eno besedo izrazimo način, kako se kaj dela?

きっさてん  
喫茶店で V kavarni

あやさんは、どんな た もの  
食べ物が  
好きですか。

アイドビ・ジュガンツイが 好きです。



## 新しい言葉 Nove besede

## Samostalniki

びょ「うき	病気	bolezen
ね「つ	熱	vročina
熱（ねつ）が あります		imeti vročino
か「ぜ	風邪	prehlad
か「ぜを ひきま」す		prehladiti se
あ「たま	頭	glava
お「なか	お腹	trebuh
の「ど	喉	grlo
ひ「らが」な	平仮名	hiragana
か「たか」な	片仮名	katakana
ロ「ーマ」じ	ローマ字	latinica
か「んじ	漢字	kitajska pismenka
で「んしじ」しょ	電子辞書	elektronski slovar
ぶ「たにく	豚肉	svinjina
と「りにく	鶏肉	perutnina
ぎゅ「うにく	牛肉	govedina
そ「ば		ajda; ajdovi rezanci
お「んがく	音楽	glasba
ク「ラシ」ック		klasična (glasba)
ポ「ップス		pop (glasba)
う「た	歌	pesem; petje
ダ「ンス		ples
ギ「ター		kitara
ス「ポー」ツ		šport
サ「ッカー		nogomet
テ「ニス		tenis
ゴ「ルフ		golf
す「いえい	水泳	plavanje
じ「かん	時間	čas; (koliko) ur

## Glagoli

や「すみま」す	休みます	počivati; izostati
授業（じゅぎょう）を 休みます		izostati od pouka
わ「かりま」す	分かります	razumeti
日本語（にほんご）が 分かります		razumeti japonščino
あ「りま」す		imeti; biti, nahajati se

## Pridevnika na -i

い「た」い	痛い	boleti
頭（あたま）が 痛いです		boleti glava
い「い		dober
か「らだに い」い	体にいい	zdrav

## Pridevniki na -na

す「き	好き	imeti rad; všeč biti
き「らい	嫌い	ne marati, sovražiti
じょ「うず」	上手	spreten; dobro obvladati
へ「た	下手	nespreten; ne obvladati

## Prislovi

た「くさ」ん		mnogo, veliko
す「こ」し	少し	malo
よ「く		često, veliko; dobro
だ「いたい		približno, v veliki meri
ぜ「んぜん		sploh (+zanikan povedek)
も「ち」ろん		seveda
ど「うして		zakaj
ぜ「ひ		vsekakor

## Veznik

～から	zato, ker
-----	-----------

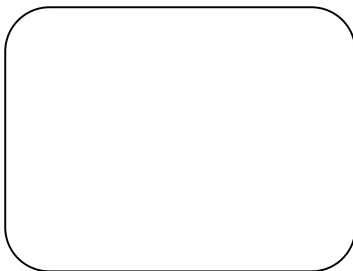
ことば れんしゅう

# 言葉の練習 Vaje za utrjevanje besedišča

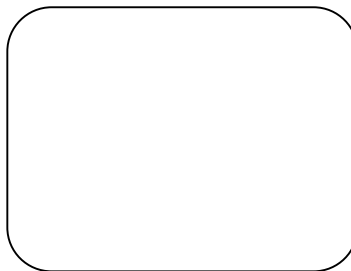
A. グループに わけて ください。 Razdelimo besede na pomenske skupine.

ビール	とりにく	スロベニアご	ぎゅうにく	ジュース	水
ぶたにく	くだもの	クラシック	ポップス	ギター	サッカー
すいえい	テニス	ロック	こうちゃ	えいご	さかな
ひらがな	りんご	カタカナ	ハンガリーご	バナナ	にほん 日本ご
ダンス	おちゃ	かんこくご	ワイン	ゴルフ	やさい

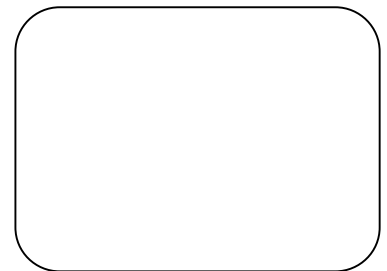
た もの  
食べ物



の もの  
飲み物



おんがく



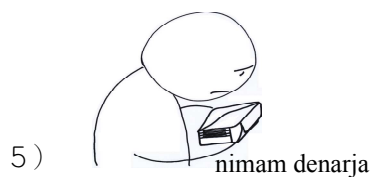
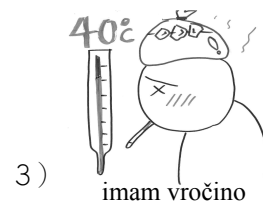
スポーツ



ことば (jezik)



B. 絵を 見て、言葉を 書いて ください。 Opišite slike.



あたらしいぶんけい  
新しい文型 Novi stavčni vzorci

## 1. Raba konstrukcije N1 は N2 が [povedek]

### 1.1. Izražanje občutij - Kako izrazimo svoje občutje?

わたしは N が	$\left\{ \begin{array}{l} \text{すき} \\ \text{きらい} \\ \text{ほしい} \\ \text{いたい} \end{array} \right\}$	です。
----------	---	-----

- a) (わたしは) すしが すきです。  
 b) (わたしは) 肉が きらいです。  
 c) (わたしは) あたらしい 車が ほしいです。  
 d) (わたしは) あたまが いたいです。  
 e) A: やまださんは 何が すきですか。  
 B: チョコレートが すきです。

*Jaz imam rad suši.*

*Jaz ne maram mesa.*

*Hočem / Rad bi nov avto.*

*Glava me boli.*

*Kaj vam je všeč, g. Yamada?*

*Rad imam čokolado.*

S povedki, kot so すき(bití všeč), きらい(bití zoprno), ほしい(hoteti), いたい(boleti) ipd., izražamo svoje občutje do nekega predmeta. Samostalniki, ki se nanašajo na tistega, ki nekaj občuti, je označen s členkom は, samostalnik, ki se nanaša na predmet občutja, pa je označen s členkom が.

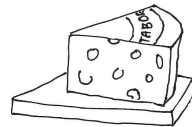
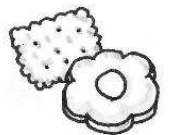
Take direktne izraze za občutja uporabljamo samo za 1. osebo v trdilih stavkih ali za 2. osebo v vprašalnih, ko pa govorimo o občutjih 3. osebe, uporabljamo manj neposredne izraze, ki jih bomo spoznali kasneje.

- f) (わたしは) すしが たいへん すきです。 *Jaz imam neznansko rad suši.*  
 g) (わたしは) すしが とても すきです。 *Jaz imam zelo rad suši.*  
 h) (わたしは) すしが あまり すきでは ありません。 *Jaz nimam posebno rad sušija.*  
 i) (わたしは) すしが ぜんぜん すきでは ありません。 *Jaz sploh ne maram sušija.*

Podobno kot pri pridevniških povedkih, te izraze lahko poudarimo s prislovoma とても (zelo) ali たいへん (zelo, strašno), popolnoma zanikamo s prislovom ぜんぜん (sploh) in povedkom v nikalni obliki, ali omilimo s prislovom あまり (ne preveč) in povedkom v nikalni obliki.

れんしゅう かいわ つく はな  
練習 1-1 会話を 作ってください。そして、話してください。

- 例) A : 山田さんは やさいが すきですか。 【とても】  
B : はい、とても すきです。
- 1) A : かわさきさんは りょうが すきですか。 【とても】  
B : \_\_\_\_\_。
- 2) A : ヤンさんは スポーツが すきですか。 【たいへん】  
B : \_\_\_\_\_。
- 3) A : いしかわ先生は ぶたにくが すきですか。 【あまり】  
B : \_\_\_\_\_。
- 4) A : マチェクさんは おかしが すきですか。 【あまり】  
B : \_\_\_\_\_。
- 5) A : まりこさんは チーズが すきですか。 【ぜんぜん】  
B : \_\_\_\_\_。
- 6) A : \_\_\_\_\_。 【 ? 】  
B : \_\_\_\_\_。



1.2. Izražanje sposobnosti - Kako povemo, kaj znamo in česa ne?

わたしは N が { できます。  
じょうずです。  
へたです。

- a) わたしは えいごが できます。 Jaz znam [govoriti] angleško.  
b) わたしは スキーが へたです。 Jaz slabo smučam / sem nespreten pri smučanju.  
c) やまださんは スキーが じょうずです。 G. Yamada dobro smuča / je spreten pri smučanju.  
d) A: やまださんは ドイツごが わかりますか。 Ali razumete nemško, g. Yamada?  
B: いいえ、わかりません。 Ne, ne razumem.

S povedki, kot so できます(znati, obvladati), わかります(razumeti), じょうずです (biti spreten), へたです (biti nespreten) ipd, izražamo sposobnost oz. obvladanje nečesa (dejavnosti, predmeta ipd.). Za razliko od povedkov za izražanje občutkov se ti povedki lahko uporabljajo za vse osebe. Samostalnik, ki se nanaša na predmet spretnosti, spremlja členek が, nosilca sposobnosti pa členek は.

Tudi te izraze lahko poudarimo s prislovoma とても (zelo) ali たいへん (zelo, strašno), popolnoma zanikamo s prislovom ぜんぜん (sploh) in povedkom v nikalni obliki, ali omilimo s prislovom あまり (ne preveč) in povedkom v nikalni obliki.

## L 9 私はスポーツが好きです

れんしゅう 練習 1-2 <sup>かいわ</sup> 会話を <sup>つく</sup> 作って ください。そして、<sup>はな</sup> 話して ください。

例) A : ヤンさんは えいがが できますか。

B : はい、\_\_\_\_\_ できます。

1) A : トムシチ先生は スキーが できますか。

B : はい、\_\_\_\_\_。

2) A : ヤナさんは ダンスが できますか。

B : いいえ、\_\_\_\_\_。

3) A : マテイさんは サッカーが じょうずですか。

B : いいえ、あまり \_\_\_\_\_。

4) A : ヴェスナさんは うたが じょうずですか。

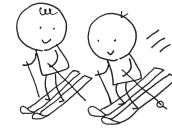
B : いいえ、\_\_\_\_\_。

5) A : あなたは りょうりが じょうずですか。

B : \_\_\_\_\_。

6) A : \_\_\_\_\_。

B : \_\_\_\_\_。



れんしゅう 練習 1-3 <sup>かいわ</sup> 会話を <sup>つく</sup> 作って ください。そして、<sup>はな</sup> 話して ください。

例) A : かわさきさんは スロベニアごが わかりますか。

【すこし】

B : \_\_\_\_\_ はい、すこし わかります。

1) A : アレシュさんは かんこくごが わかりますか。

【すこし】

B : \_\_\_\_\_。

2) A : トムシチ先生は クロアチアごが わかりますか。

【よく】

B : \_\_\_\_\_。

3) A : ミランさんは ドイツごが わかりますか。

【あまり】

B : \_\_\_\_\_。

4) A : ヤドランカさんは ハンガリーごが わかりますか。

【ぜんぜん】

B : \_\_\_\_\_。

5) A : あなたは チェコごが わかりますか。

【??】

B : \_\_\_\_\_。

6) A : \_\_\_\_\_。

B : \_\_\_\_\_。



れんしゅう 練習 1-4 はな 話して ください。

Jan in Aya se v kavarni pogovarjata o načrtih za konec tedna.

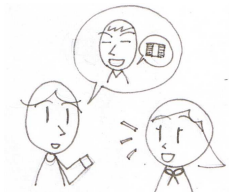
ヤン：こんど、みんなで イタリアへ 行きませんか。

あや：いいですね。でも、わたしは イタリアごが  
ぜんぜん わかりません。

ヤン：わたしも あまり じょうずでは ありません。

でも、ミランさんは イタリアごが とても じょうずですよ。

あや：そうですか！



★ことばを くみあわせて、例の ように 作<sup>つく</sup>って ください。

S spodnjimi besedami sestavite podobne dialoge.

イタリア  
ドイツ  
ギリシャ  
サッカー  
スキー

とても  
よく  
すこし  
あまり  
ぜんぜん

じょうずです  
へたです  
できます  
わかります

### 1.3. Posedovanje predmeta - Kako povemo, kaj kdo ima?

わたしは Nが あります。

- a) わたしは おかねが あります。 Jaz imam denar.  
b) やまださんは ねつが あります。 G. Yamada ima vročino.

Glagol あります izraža posedovanje ali nahajanje (o nahajanju več v 10. lekciji). Posedovalec je označen s členkom は, posedovani predmet pa s členkom が.

L 9 私はスポーツが好きです

練習 1-5      <sup>なに</sup>何が    <sup>か</sup>ありますか。書いて    ください。

例) わたしは テレビ が あります。

1) わたしは \_\_\_\_\_ が あります。

2) わたしは \_\_\_\_\_が あります。

3) わたしは \_\_\_\_\_ が あります。

4) わたしは \_\_\_\_\_ が あります。

例) ヤネス : わたしは テレビが あります。

ルツィヤ：どんな テレビですか。

ヤネス : 大きいです。そして、あたらしいです。  
 { 大きいですが、ふるいです。



ルツィヤ：そうですか。

## 2. Identificiranje nečesa v množici podobnih stvari – Kateri izmed večih?

どんな N

a) A: どんな スポーツが すきですか。

Kateri šport vam je všeč?

B: サッカーが すきです。

Všeč mi je nogomet.

Vprašalnico *どんな* lahko uporabljamo ne samo za spraševanje po lastnosti (kakšen?), ampak tudi po identiteti (kateri v množici podobnih stvari?).

Isto lahko povemo tudi drugače:

[kategorija] で Nが [pridevnik] です

b) A: スポーツで なにか すきですか。

Kateri šport vam je všeč?

B: テニスが すきです。

Všeč mi je tenis.

c) おんがくで クラシックが すきです。

Med glasbami mi je všeč klasična.



れんしゅう 練習 2-1 <sup>かいわ</sup> 会話を <sup>つく</sup> 作って <sup>はな</sup> ください。そして、<sup>はな</sup> 話して ください。

例) A : やまださんは どんな たべもの が すきですか。

B : やさいが すきです。

1) A : バルバラさんは どんな \_\_\_\_\_ が すきですか。

B : すいえいが すきです。

2) A : いしかわ先生 <sup>せんせい</sup> は どんな \_\_\_\_\_ が すきですか。

B : クラシックが すきです。

3) A : かわさきさんは どんな \_\_\_\_\_ が すきですか。

B : ビールが すきです。

4) A : さいとうさんは どんな \_\_\_\_\_ が すきですか。

B : りんごが すきです。

5) A : ( ) さんは どんな \_\_\_\_\_ が すきですか。

B : ( ) が すきです。

スポーツ

おんがく

たべもの

のみもの

くだもの

れんしゅう 練習 2-2 <sup>はな</sup> 話して ください。

Aya in Milan se v kavarni pogovarjata o hrani.

あや : わたしは イタリア の パスタ が すきです。

ミラン : どんな パスタ が すきですか。

あや : トマト と ツナ の パスタ が すきです。 ミランさんは？

ミラン : わたしは やさい の パスタ が すきです。

ことば 言葉を <sup>く</sup> 組み合わせて <sup>かいわ</sup> 会話を <sup>つく</sup> 作ってください。 Sestavite podobne dialoge s spodnjimi besedami!

例) 【イタリア／パスタ／トマトと ツナ／やさい】

1) 【le Petit café／サンドイッチ／ハムと チーズ／とりにくと トマト】

2) 【日本 <sup>にほん</sup>／りょうり／おすし／カレーライス】

3) 【わたしの じっか／りょうり／？？／？？】

4) 【？？／ピザ／？？／？？】

### 3. Razlog – Kako vprašamo in povemo, zakaj?

どうして… か。

…から。

a) A: どうして きのう じゅぎょうを やすみましたか。 *Zakaj vas včeraj ni bilo pri pouku?*

B: ねつが ありましたから。

*Ker sem imel vročino.*

Po razlogu sprašujemo z vprašalnico どうして. Na konec odgovora, ki navaja razlog, dodamo členek から. Ko obenem povemo razlog in posledico, najprej postavimo stavek, ki navaja razlog, nato členek から, nato še stavek, ki navaja posledico – ta je potem glavni stavek, medtem ko je stavek, ki pojasnjuje razlog, prislovno določilo.

[razlog]から [posledica]。

b) おなかが いたいですから、なにも たべません。

*Ničesar ne bom jedel, ker me boli trebuh.*

#### れんしゅう 練習 3 – 1 か 書いて ください。

例) 【にくが すきです／まいにち たべます】

→ \_\_\_\_\_。

1) 【ビールが すきです／まいばん のみます】

→ \_\_\_\_\_。

2) 【あたまが いたいです／やすみします】

→ \_\_\_\_\_。

3) 【じかんが ありません／パーティーへ いきません】

→ \_\_\_\_\_。

4) 【テストが あります／ともだちと べんきょうします】

→ \_\_\_\_\_。

5) 【さむいです／どこへも 行きません】

→ \_\_\_\_\_。

6) 【しゅくだいが あります／??】

→ \_\_\_\_\_。

れんしゅう 練習 3-2      かいわ 会話を つく 作って ください。そして、はな 話してください。



例1) 【日本<sup>にほん</sup>ごを べんきょうします／日本<sup>にほん</sup>の ともだちが います】

A : どうして 日本<sup>にほん</sup>ごを べんきょうしますか。

B : 日本<sup>にほん</sup>の ともだちが いますから、べんきょうします。

例2) 【日本<sup>にほん</sup>へ いきません／お金<sup>かね</sup>が ありません】

A : どうして 日本<sup>にほん</sup>へ 行き<sup>い</sup>ませんか。

B : お金<sup>かね</sup>が ありませんから、行きません。

1) 【たばこを すいません／からだに よくないです】

A :

B :

2) 【タクシーで 行きます／じかんが ありません】

A :

B :

3) 【はなを かいます／ははの たんじょう<sup>び</sup>日です】

A :

B :

4) 【ビールを のみません／すきでは ありません】

A :

B :

5) 【びょういんへ 行きます／ねつが あります】

A :

B :

## L 9 私はスポーツが好きです

### れんしゅう 練習 3-3 はな 話して ください。

ミラン：あやさんは どんな たべものが すきですか。

あや：そうですね。イタリアの パスタが すきです。

ミラン：どうしてですか。

あや：おいしいですから すきです。

		例) あやさん	さん	さん
たべもの	どんな	イタリアの パスタ		
	どうして	おいしいです		
のみもの	どんな	オレンジジュース		
	どうして	からだに いいです		
スポーツ	どんな	テニス		
	どうして	おもしろいです		
げんご [jezik]	どんな	スロベニアご		
	どうして	むずかしいですが、 おもしろいです		

## 4. Način početja

V ~~ます~~ かた

Če glagolski vezni obliki (torej temu, kar dobimo, če od oblike na -ます odstranimo končnico -ます) dodamo pripono 方(かた), dobimo samostalnik, ki pomeni "način početja" tega, kar izraža glagol. Npr.

つくります	<i>izdelati</i>	つく리카た	<i>način izdelave</i>
かきます	<i>pisati</i>	かきかた	<i>način pisanja</i>
よみます	<i>brati</i>	よみかた	<i>način branja</i>

- a) この かんじの よみかたが わかりません。 *Ne vem, kako se prebere ta pismenka.*
- b) ジュガンツィの つくりかたを おしえましょうか。 *Ali naj te naučim, kako se delajo (skuhajo) žganci?*
- c) 『ちきゅうの あるきかた』 "Kako se hodi po svetu" (naslov priljubljene serije turističnih vodičev na Japonskem)

れんしゅう  
練習 4-1 書いて ください。

例) つくります → つくりかた

1) いきます →

4) おくります →

2) かきます →

5) おぼえます →

3) よみます →

6) たべます →

れんしゅう  
練習 4-2 同級生が 困っています。 何と 言いますか。

Kolega je v težavah. Kako mu bomo pomagali?

例) A: この かんじの かきかたが わかりません。

B: わたしは かんじの きょうかしが あります。いっしょに みましょう。

A: ありがとう。

1) A: この かんじの よみかたが わかりません。

B: \_\_\_\_\_。

A: ええ、おねがいします。

2) A: アイドビ・ジュガンツィが すきです。でも、つくりかたが わかりません。

B: \_\_\_\_\_。

A: ええ、ぜひ おねがいします。

3) A: てがみの おくりかたが わかりません。

B: \_\_\_\_\_。

A: ええ、ぜひ おねがいします。

4) A: キノテカで 8 じに ともだちと あいます。でも、行きかたが わかりません。

B: \_\_\_\_\_。

A: ええ、おねがいします。

いっしょに ゆうびんきょくへ 行きましょうか。

わたしは じしよが あります。かしましょうか。

ちずを かきましょうか。

じゃ、こんど いっしょに つくりましょう。

~~わたしは かんじの きょうかしが あります。いっしょに みましょう。~~

ほんぶん  
本文 9 Besedilo 9

きつさてん  
喫茶店で(3) V kavarni (3)

Jan, Milan in Aya se pogovarjajo v kavarni.

ミラン：あやさんは、どんな <sup>た もの</sup>食べ物が <sup>す</sup>好きですか。

あや：そうですね。

アイドビ・ジュガンツイが <sup>す</sup>好きです。

ミラン：(presenečeno) アイドビ・ジュガンツイですか。

あや：ええ、<sup>にほん</sup>日本でも <sup>た</sup>そばを <sup>た</sup>食べますよ。

<sup>にほん</sup>日本の <sup>た</sup>そばは <sup>た</sup>スパゲッティみたい [kot špageti] です。

ミラン：(spet presenečeno) へえ、そうですか。

あや：でも アイドビ・ジュガンツイの <sup>つく かた</sup>作り方が <sup>わ</sup>分かりません。

ヤン：わたしは <sup>つく かた</sup>作り方が <sup>わ</sup>分かります。

こんど <sup>おし</sup>教えましょう。

あや：わあ。ぜひ <sup>ねが</sup>よろしく <sup>ねが</sup>お願いします。



ふくしゅう

## 復習 Ponovimo!

1. ( ) に じょしを <sup>か</sup>書いて ください。いらないときは × を <sup>か</sup>書いて ください。

- 1) どんな えいが ( ) すきですか。
- 2) コシールさん ( ) ギター ( ) じょうずです。
- 3) わたしは にく ( ) きらいですから、にく ( ) たべません。

2. いい ことばを えらんで ください。 Izberite.

例) あの 人は { だれ・なに・どれ } ですか。

- 1) <sup>きょう</sup>今日は しゅくだいが { たいへん・たくさん・ぜんぜん } あります。
- 2) わたしは ちゅうごくごが { だいたい・たくさん・ぜんぜん } わかりません。
- 3) わたしは うたが { あまり・たいへん・よく } へたです。
- 4) ヤンさんは <sup>にほん</sup>日本ごが だいたい  
{ じょうずではありません・わかります・わかりません }。

3. いい ことばを えらんで ください。 Izberite pravilni odgovor.

例) ねつが ありますから、( d )。

- 1) ビールが すきですから、( )。
- 2) かぜを ひきましたから、( )。
- 3) この じしょは あまり よくないですから、( )。
- 4) 12じですから、( )。
- 5) じかんが ありませんから、( )。

- |                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| a. びょういんへ <sup>い</sup> 行きます   | d. くすりを のみます     |
| b. かいません                      | e. まいにち のみます     |
| c. ひるごはんを <sup>た</sup> 食べましょう | f. あまり テレビを みません |

4. 答<sup>こた</sup>えて ください。 Odgovorite!

1) あなたは テレビを よく みますか。

---

2) あなたは りょうりが じょうずですか。

---

3) あなたは えいがが わかりますか。

---

4) あなたは どんな スポーツが 好<sup>す</sup>きですか。

---

はってん  
発展 Poskusimo!

1. 話<sup>はな</sup>して ください。 Tvorite dialoge kot v primeru.

例) A : Bさんは どんな たべものが すきですか。

B : くだものが すきです。 Aさんは？

A : なんでも すきです。

\* \* \* \* \*

B : Aさんは どんな スポーツが すきですか。

A : スポーツが すきでは ありません。

わたしは スポーツを あまりしません。 Bさんは？

B : わたしは スキーが たいへん すきです。

	たべもの	のみもの	スポーツ	いろ
わたし				
さん				
さん				